

WEST

Generate Collection

L1: Entry 6 of 19

File: JPAB

Jul 17, 2001

PUB-NO: JP02001192332A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2001192332 A

TITLE: METHOD FOR TREATING MIGRAINE SYNDROME AND MEDICINAL COMPOSITION

PUBN-DATE: July 17, 2001

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

CODISPOTI, JOSEPH R

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

MCNEIL PPC INC

APPL-NO: JP2000356516

APPL-DATE: November 22, 2000

INT-CL (IPC): A61 K 31/192; A61 P 25/06

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a new effective method for treating migraine and treating specific migraine syndromes.

SOLUTION: This method for treating photophobia or sound phobia accompanied by the attack of migraine, comprising supplying a constant effective amount of ibuprofen, its pharmaceutically acceptable salt, its isomer, or their mixture.

COPYRIGHT: (C)2001,JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-192332

(P2001-192332A)

(43) 公開日 平成13年7月17日 (2001.7.17)

(51) Int.Cl.⁷

識別記号

F I

データベース (参考)

A 6 1 K 31/192

A 6 1 K 31/192

4 C 2 0 6

A 6 1 P 25/06

A 6 1 P 25/06

審査請求 未請求 請求項の数4 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願2000-356516(P2000-356516)

(22) 出願日 平成12年11月22日 (2000.11.22)

(31) 優先権主張番号 4 4 9 1 2 4

(32) 優先日 平成11年11月24日 (1999.11.24)

(33) 優先権主張国 米国 (US)

(31) 優先権主張番号 7 0 9 0 6 9

(32) 優先日 平成12年11月9日 (2000.11.9)

(33) 優先権主張国 米国 (US)

(71) 出願人 591252839

マクニール・ピーピーシー・インコーポレ
イテッド

MCNEIL-PPC, INCORPOR
ATED

アメリカ合衆国 08558 ニュージャージ
ー州、スキルマン、グラントビュー・ロー
ード (番地なし)

(74) 代理人 100066474

弁理士 田澤 博昭 (外1名)

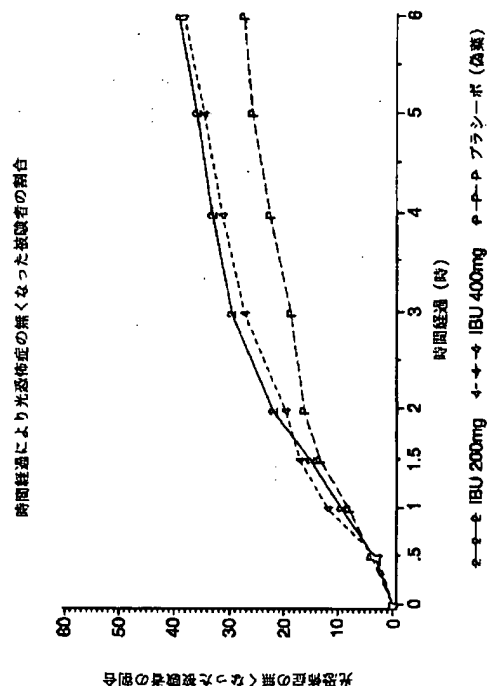
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 偏頭痛症状の治療方法および薬剤組成物

(57) 【要約】

【課題】 偏頭痛の治療および特定の偏頭痛の症状の治
療のための新規で有効な方法を提供する。

【解決手段】 本発明による方法は一定有効量のイブプ
ロフェン、その薬剂的に許容可能な塩、その異性体、ま
たはこれらの混合物により偏頭痛の発作に伴う光恐怖症
および音恐怖症を治療する方法である。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 有効量のイブプロフェン、その薬剂的に許容可能な塩、その異性体、またはこれらの混合物を唯一の薬剂的に有効な成分として供給する工程から成る偏頭痛に伴う光恐怖症を緩和または治療するための方法。

【請求項2】 有効量のイブプロフェン、その薬剂的に許容可能な塩、その異性体、またはこれらの混合物を唯一の薬剂的に活性な成分として供給する工程から成る偏頭痛に伴う音恐怖症を緩和または治療するための方法。

【請求項3】 有効量のイブプロフェン、その薬剂的に許容可能な塩、その異性体、またはこれらの混合物を唯一の薬剂的に有効な成分として含有する偏頭痛に伴う光恐怖症を緩和または治療するための薬剤組成物。

【請求項4】 有効量のイブプロフェン、その薬剂的に許容可能な塩、その異性体、またはこれらの混合物を唯一の薬剂的に活性な成分として含有する偏頭痛に伴う音恐怖症を緩和または治療するための薬剤組成物。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は有効量のイブプロフェンの投与による偏頭痛症状の治療および薬剤組成物に関し、特に、本発明はイブプロフェンによる音恐怖症および光恐怖症の治療および薬剤組成物に関する。

【0002】

【従来の技術】偏頭痛はこの病気に罹った者に多様な痛みや症状、および異常を与える。これらの症状の中には、吐気、頭痛、中度から重度の痛み、および一定の割合の患者における麻痺状態を引き起こす痛みや全体的な傷害が含まれる。さらに、一部の患者においては、光恐怖症すなわち光に対する苦痛感、または音恐怖症すなわち音に対する苦痛感を訴える場合がある。

【0003】偏頭痛の治療は処方または非処方的な過剰反対薬物の適用 (over-the-counter medication) の両方を含む。現在において有効と考えられているこのような過剰反対薬物の適用方法として、その内容全体が本明細書に参考文献として含まれる米国特許第5, 972, 916号に記載されているアセトアミノフェン/アスピリン/カフェインの組み合わせがある。しかしながら、このような活性成分の組み合わせには、それらの活性の一部が不所望な副作用を引き起こすと言う不都合がある。例えば、アスピリンが胃に刺激を与えることや、カフェインが不安感や不眠症を生じ得ることが知られている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】それゆえ、偏頭痛の治療方法および特定の偏頭痛の症状に対する別の治療方法が依然として要望されている。

【0005】

【課題を解決するための手段】本発明は有効量のイブプロフェン、その薬剂的に許容可能な塩、その異性体、またはこれらの混合物を供給することにより偏頭痛の発作

に伴う音恐怖症および/または光恐怖症を緩和または治療するための方法を提供する。本発明はまた、有効量のイブプロフェン、その薬剂的に許容可能な塩、その異性体、またはこれらの混合物を含有する偏頭痛の発作に伴う音恐怖症および/または光恐怖症を緩和または治療するための薬剤組成物を提供する。本発明は唯一の薬剂的活性成分、すなわち、イブプロフェン、その薬剂的に許容可能な塩、その異性体、またはこれらの混合物の作用に基づいている。さらに、本発明は香料、結合剤および賦形剤のような付加的な成分の使用を含むことができる。

【0006】

【発明の実施の形態】イブプロフェンはよく知られた鎮痛物質であり、鎮痛性および非ピリン系の特性を有する。この物質は多年にわたり種々の形態で市販されている。

【0007】本発明によれば、イブプロフェン、その薬剂的に許容可能な塩、その異性体、またはこれらの混合物は光恐怖症および音恐怖症を緩和するのに有効な経口投与量として投与されるのが好ましく、当該投与量は1回の投与量当たり約100mg乃至約800mg、好ましくは約200mg乃至約600mg、最も好ましくは約300mg乃至約400mgのイブプロフェンを含有して成る。このような薬剂的に許容可能なイブプロフェンの塩の典型的な投与量はイブプロフェンの等価な投与量を与えるのに必要なその塩の分子量により変化する。すなわち、このようなイブプロフェンの薬剂的に許容可能な塩の典型的な経口投与量は1回の投与量当たり約110mg乃至1700mgの範囲である。一般に、イブプロフェンの薬剂的に許容可能な塩を伴うイブプロフェンまたはその異性体の混合物の投与量は1回の投与量当たり約100mg乃至約1700mg、好ましくは約200mg乃至約1300mg、最も好ましくは約300mg乃至約850mgである。また、一般的な投与は4時間乃至6時間おきに行うが、1日当たり2400mgのイブプロフェンの最大推奨投与量を超えないように注意することが必要である。

【0008】適当なイブプロフェンの薬剂的に許容可能な塩としては、ナトリウム、カリウム、リチウム、マグネシウム、カルシウム、セシウム、アンモニウム、第一鉄、亜鉛、亜マンガ、アルミニウム、第二鉄、およびマンガンのような無機カチオンの塩、および第一級アミン、第二級アミン、第三級アミンおよび第四級アミン、またはこれらの混合物の任意のものが含まれる。さらに、このような第一級アミン、第二級アミン、第三級アミンおよび第四級アミンとしては、天然の置換アミンを含むがこれに限らない置換アミン、環状アミンおよび塩基性イオン交換樹脂、およびこれらの混合物が含まれる。特に適当なアミンとしては、トリエチルアミン、トリプロピルアミン、2-ジメチルアミノエタノール、2

ージエチルアミノエタノール、リジン、アルギニン、ヒスチジン、カフェイン、プロカイン、N-エチルピペリジン、ヒドラバミン(hydrabamine)、コリン、ベタイン、エチレンジアミン、グルコサミン、トリス(ヒドロキシメチル)アミノメタン、メチルグリカミン(methylglycamine)、テオブロミン、プリン、プルイン(pruines)、ピペラジン、ピペリジン、ポリアミン樹脂等、およびこれらの混合物が含まれるがこれらに限らない。実施形態の一例において、イブプロフェンおよびそのナトリウム塩の混合物が使用できる。また、適当な異性体として、R-イブプロフェン、S-イブプロフェンおよびこれらの混合物が含まれるがこれらに限らない。

【0009】適当な投与形態として、固体または液体が含まれる。さらに、固体の形態として、錠剤、カプセル、液体充填した軟質ゼラチンカプセル、パウダー、サシェット(sachets)等が含まれる。また、適当な液体の形態として、懸濁液、溶液、エマルジョン(乳液)等が含まれる。

【0010】イブプロフェン、その薬剂的に許容可能な塩、その異性体、またはこれらの混合物には種々の薬剂的に許容可能な賦形剤、および希釈剤、顆粒化剤、崩壊剤、結合剤、潤滑剤等を含むがこれらに限らないその他の成分を添加することができる。これらの種々の成分はその内容全体が本明細書に参考文献として含まれる米国特許第5,660,860号に記載されている。

【0011】以下の実施例において説明する本発明は、本発明を実施する種々の態様を例示するためのものであり、本発明を何ら制限する目的のためのものではない。

【0012】実施例1

偏頭痛による光恐怖症に罹った被験者に対してプラシーボ(偽薬)を与えるか、200mgまたは400mgのイブプロフェンによる治療のいずれかを行った。約650人の被験者がこの調査に参加し、一部の被験者にプラシーボを与えて、残りの被験者に200mgまたは400mgのイブプロフェンを投与した。その後、彼らの光恐怖症についての評価を定期的に行い、その結果を図1に示した。なお、この図1においては、イブプロフェンをIBUとして示した。この結果から、治療後2時間以上経過した時点においてイブプロフェンによる光恐怖症の治療が有効であって、光恐怖症が緩和されることが分かる。

【0013】実施例2

偏頭痛による音恐怖症に罹った被験者に対してプラシーボ(偽薬)を与えるか、錠剤の形態の200mgまたは400mgのイブプロフェンによる治療のいずれかを行った。その後、彼らの音恐怖症についての評価を定期的に行い、その結果を図2に示した。なお、この図2においては、イブプロフェンをIBUとして示した。この結果から、治療後2時間以上経過した時点においてイブプロフェンによる音恐怖症の治療が有効であって、音恐怖

症が緩和されることが分かる。

【0014】本発明の実施態様は以下の通りである。

(1)前記イブプロフェン、その異性体、またはこれらの混合物の量が1回の投与量当たり約100mg乃至約800mgである請求項1に記載の方法。

(2)前記イブプロフェン、その異性体、またはこれらの混合物の量が1回の投与量当たり約200mg乃至約600mgである請求項1に記載の方法。

(3)前記イブプロフェン、その異性体、またはこれらの混合物の量が1回の投与量当たり約100mg乃至約800mgである請求項2に記載の方法。

(4)前記イブプロフェン、その異性体、またはこれらの混合物の量が1回の投与量当たり約200mg乃至約600mgである請求項2に記載の方法。

(5)前記イブプロフェン、その薬剂的に許容可能な塩、その異性体、またはこれらの混合物の量が1回の投与量当たり約200mgである請求項1に記載の方法。

【0015】(6)前記イブプロフェン、その薬剂的に許容可能な塩、その異性体、またはこれらの混合物の量が1回の投与量当たり約400mgである請求項1に記載の方法。

(7)前記イブプロフェン、その薬剂的に許容可能な塩、その異性体、またはこれらの混合物の量が1回の投与量当たり約200mgである請求項2に記載の方法。

(8)前記イブプロフェン、その薬剂的に許容可能な塩、その異性体、またはこれらの混合物の量が1回の投与量当たり約400mgである請求項2に記載の方法。

(9)前記イブプロフェンの薬剂的に許容可能な塩が、(a)無機のカチオン塩、(b)薬剂的に許容可能な第一級アミン、第二級アミン、第三級アミンおよび第四級アミンとイブプロフェンとの有機塩、および(c)これらの混合物、から成る群から選択される請求項1に記載の方法。

(10)前記イブプロフェンの薬剂的に許容可能な塩が、(a)ナトリウム、カリウム、リチウム、マグネシウム、カルシウム、セシウム、アンモニウム、第一鉄、亜鉛、亜マンガ、アルミニウム、第二鉄、およびマンガから選択される無機のカチオン塩、(b)トリエチルアミン、トリプロピルアミン、2-ジメチルアミノエタノール、2-ジエチルアミノエタノール、リジン、アルギニン、ヒスチジン、カフェイン、プロカイン、N-エチルピペリジン、ヒドラバミン、コリン、ベタイン、エチレンジアミン、グルコサミン、トリス(ヒドロキシメチル)アミノメタン、メチルグリカミン、テオブロミン、プルイン、ピペラジン、ピペリジン、ポリアミン樹脂から選択される第一級アミン、第二級アミン、第三級アミン、および第四級アミンとイブプロフェンとの有機塩、または(c)これらの混合物である請求項1に記載の方法。

【0016】(11)前記混合物がイブプロフェンとそ

のナトリウム塩である請求項1に記載の方法。

(12) 前記イブプロフェンの異性体がR-イブプロフェン、S-イブプロフェン、およびこれらの混合物から成る群から選択される請求項1に記載の方法。

(13) 前記イブプロフェンの薬剂的に許容可能な塩が、(a) 無機のカチオン塩、(b) 薬剂的に許容可能な第一級アミン、第二級アミン、第三級アミンおよび第四級アミンとイブプロフェンとの有機塩、および(c) これらの混合物、から成る群から選択される請求項2に記載の方法。

(14) 前記イブプロフェンの薬剂的に許容可能な塩が、(a) ナトリウム、カリウム、リチウム、マグネシウム、カルシウム、セシウム、アンモニウム、第一鉄、亜鉛、亜マンガ、アルミニウム、第二鉄、およびマンガから選択される無機のカチオン塩、(b) トリエチルアミン、トリプロピルアミン、2-ジメチルアミノエタノール、2-ジエチルアミノエタノール、リジン、アルギニン、ヒスチジン、カフェイン、プロカイン、N-エチルピペリジン、ヒドラバミン、コリン、ベタイン、エチレンジアミン、グルコサミン、トリス(ヒドロキシメチル)アミノメタン、メチルグリカミン、テオブロミン、アルイン、ピペラジン、ピペリジン、ポリアミン樹脂から選択される第一級アミン、第二級アミン、第三級アミン、および第四級アミンとイブプロフェンとの有機塩、または(c) これらの混合物である請求項2に記載の方法。

(15) 前記混合物がイブプロフェンとそのナトリウム塩である請求項2に記載の方法。

【0017】(16) 前記イブプロフェンの異性体がR-イブプロフェン、S-イブプロフェン、およびこれらの混合物から成る群から選択される請求項2に記載の方法。

(17) 前記イブプロフェンの薬剂的に許容可能な塩の量が1回の投与量当たり約100mg乃至約1700mgである請求項1に記載の方法。

(18) 前記イブプロフェンの薬剂的に許容可能な塩の量が1回の投与量当たり約100mg乃至約1700mgである請求項2に記載の方法。

(19) 前記イブプロフェン、その異性体、およびその薬剂的に許容可能な塩の混合物の量が1回の投与量当たり約100mg乃至約1700mgである請求項1に記載の方法。

(20) 前記イブプロフェン、その異性体、およびその薬剂的に許容可能な塩の混合物の量が1回の投与量当たり約200mg乃至約1300mgである請求項1に記載の方法。

【0018】(21) 前記イブプロフェン、その異性体、およびその薬剂的に許容可能な塩の混合物の量が1回の投与量当たり約100mg乃至約1700mgである請求項2に記載の方法。

(22) 前記イブプロフェン、その異性体、およびその薬剂的に許容可能な塩の混合物の量が1回の投与量当たり約200mg乃至約1300mgである請求項2に記載の方法。

(23) 前記イブプロフェン、その異性体、またはこれらの混合物の量が1回の投与量当たり約100mg乃至約800mgである請求項3に記載の組成物。

(24) 前記イブプロフェン、その異性体、またはこれらの混合物の量が1回の投与量当たり約200mg乃至約600mgである請求項3に記載の組成物。

(25) 前記イブプロフェン、その異性体、またはこれらの混合物の量が1回の投与量当たり約100mg乃至約800mgである請求項4に記載の組成物。

【0019】(26) 前記イブプロフェン、その異性体、またはこれらの混合物の量が1回の投与量当たり約200mg乃至約600mgである請求項4に記載の組成物。

(27) 前記イブプロフェン、その薬剂的に許容可能な塩、その異性体、またはこれらの混合物の量が1回の投与量当たり約200mgである請求項3に記載の組成物。

(28) 前記イブプロフェン、その薬剂的に許容可能な塩、その異性体、またはこれらの混合物の量が1回の投与量当たり約400mgである請求項3に記載の組成物。

(29) 前記イブプロフェン、その薬剂的に許容可能な塩、その異性体、またはこれらの混合物の量が1回の投与量当たり約200mgである請求項4に記載の組成物。

(30) 前記イブプロフェン、その薬剂的に許容可能な塩、その異性体、またはこれらの混合物の量が1回の投与量当たり約400mgである請求項4に記載の組成物。

【0020】(31) 前記イブプロフェンの薬剂的に許容可能な塩が、(a) 無機のカチオン塩、(b) 薬剂的に許容可能な第一級アミン、第二級アミン、第三級アミンおよび第四級アミンとイブプロフェンとの有機塩、および(c) これらの混合物、から成る群から選択される請求項3に記載の組成物。

(32) 前記イブプロフェンの薬剂的に許容可能な塩が、(a) ナトリウム、カリウム、リチウム、マグネシウム、カルシウム、セシウム、アンモニウム、第一鉄、亜鉛、亜マンガ、アルミニウム、第二鉄、およびマンガから選択される無機のカチオン塩、(b) トリエチルアミン、トリプロピルアミン、2-ジメチルアミノエタノール、2-ジエチルアミノエタノール、リジン、アルギニン、ヒスチジン、カフェイン、プロカイン、N-エチルピペリジン、ヒドラバミン、コリン、ベタイン、エチレンジアミン、グルコサミン、トリス(ヒドロキシメチル)アミノメタン、メチルグリカミン、テオブロミ

ン、アルイン、ピペラジン、ピペリジン、ポリアミン樹脂から選択される第一級アミン、第二級アミン、第三級アミン、および第四級アミンとイブプロフェンとの有機塩、または(c)これらの混合物である請求項3に記載の組成物。

(33) 前記混合物がイブプロフェンとそのナトリウム塩である請求項3に記載の組成物。

(34) 前記イブプロフェンの異性体がR-イブプロフェン、S-イブプロフェン、およびこれらの混合物から成る群から選択される請求項3に記載の組成物。

(35) 前記イブプロフェンの薬剂的に許容可能な塩が、(a)無機のカチオン塩、(b)薬剂的に許容可能な第一級アミン、第二級アミン、第三級アミンおよび第四級アミンとイブプロフェンとの有機塩、および(c)これらの混合物、から成る群から選択される請求項4に記載の組成物。

【0021】(36) 前記イブプロフェンの薬剂的に許容可能な塩が、(a)ナトリウム、カリウム、リチウム、マグネシウム、カルシウム、セシウム、アンモニウム、第一鉄、亜鉛、亜マンガ、アルミニウム、第二鉄、およびマンガから選択される無機のカチオン塩、(b)トリエチルアミン、トリプロピルアミン、2-ジメチルアミノエタノール、2-ジエチルアミノエタノール、リジン、アルギニン、ヒスチジン、カフェイン、プロカイン、N-エチルピペリジン、ヒドラバミン、コリン、ベタイン、エチレンジアミン、グルコサミン、トリス(ヒドロキシメチル)アミノメタン、メチルグリカミン、テオプロミン、プルイン、ピペラジン、ピペリジン、ポリアミン樹脂から選択される第一級アミン、第二級アミン、第三級アミン、および第四級アミンとイブプロフェンとの有機塩、または(c)これらの混合物である請求項4に記載の組成物。

(37) 前記混合物がイブプロフェンとそのナトリウム塩である請求項4に記載の組成物。

(38) 前記イブプロフェンの異性体がR-イブプロフェン、S-イブプロフェン、およびこれらの混合物から成る群から選択される請求項4に記載の組成物。

(39) 前記イブプロフェンの薬剂的に許容可能な塩の量が1回の投与量当たり約100mg乃至約1700mgである請求項3に記載の組成物。

(40) 前記イブプロフェンの薬剂的に許容可能な塩の量が1回の投与量当たり約100mg乃至約1700mgである請求項4に記載の組成物。

【0022】(41) 前記イブプロフェン、その異性体、およびその薬剂的に許容可能な塩の混合物の量が1回の投与量当たり約100mg乃至約1700mgである請求項3に記載の組成物。

(42) 前記イブプロフェン、その異性体、およびその薬剂的に許容可能な塩の混合物の量が1回の投与量当たり約200mg乃至約1300mgである請求項3に記載の組成物。

(43) 前記イブプロフェン、その異性体、およびその薬剂的に許容可能な塩の混合物の量が1回の投与量当たり約100mg乃至約1700mgである請求項4に記載の組成物。

(44) 前記イブプロフェン、その異性体、およびその薬剂的に許容可能な塩の混合物の量が1回の投与量当たり約200mg乃至約1300mgである請求項4に記載の組成物。

【0023】

【発明の効果】以上述べたように、本発明によれば、偏頭痛に伴う光恐怖症および音恐怖症を緩和または治療するために有効な方法および薬剤組成物が提供できる。さらに、本発明によれば、イブプロフェン、その薬剂的に許容可能な塩、その異性体、またはこれらの混合物を唯一の薬剂的有効成分として供給されるので、従来のアスピリン、カフェイン等の成分により引き起こされる不所望な副作用を伴わない。

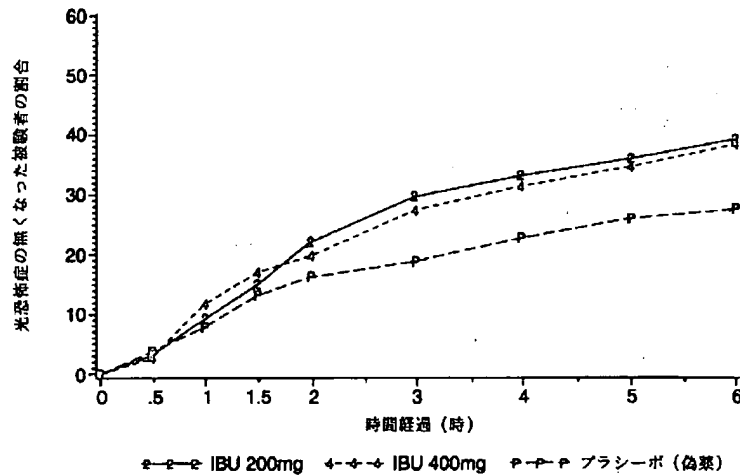
【図面の簡単な説明】

【図1】イブプロフェンによる治療後に経時的に減少した光恐怖症の被験者の割合を示している図である。

【図2】イブプロフェンによる治療後に経時的に減少した音恐怖症の被験者の割合を示している図である。

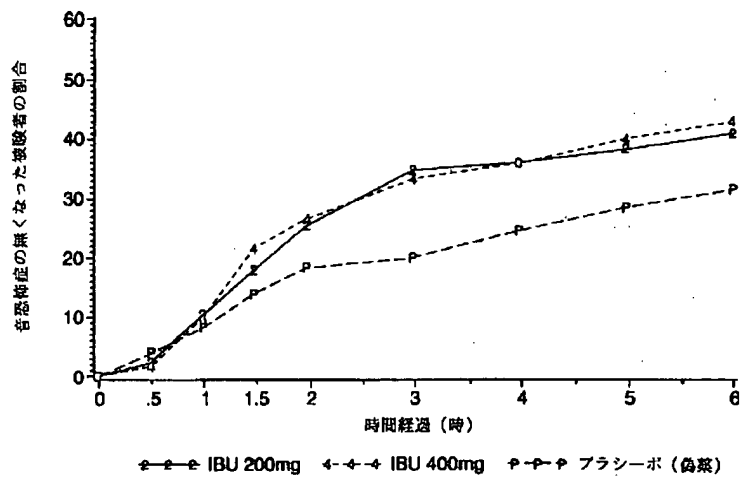
【図1】

時間経過により光恐怖症の無くなった被験者の割合



【図2】

時間経過により音恐怖症の無くなった被験者の割合



フロントページの続き

(72)発明者 ジョセフ・アール・コディスボティ
 アメリカ合衆国、19116 ペンシルベニア
 州、フィラデルフィア、ワシントン・ロ
 ード 13001

Fターム(参考) 4C206 AA01 AA02 DA16 MA01 MA04
 NA14 ZA08 ZC54

WEST

Generate Collection

L1: Entry 12 of 19

File: DWPI

Jun 25, 2001

DERWENT-ACC-NO: 2001-565929
DERWENT-WEEK: 200172
COPYRIGHT 2002 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Treatment of photophobia and phonophobia associated with migraine attack,
comprises use of ibuprofen

INVENTOR: CODISPOTI, J R

PATENT-ASSIGNEE: MCNEIL-PPC INC (MCNI)

PRIORITY-DATA: 2000US-0709069 (November 9, 2000), 1999US-0449124 (November 24, 1999)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE	PAGES	MAIN-IPC
KR 2001051939 A	June 25, 2001		000	A61K031/192
CA 2326549 A1	May 24, 2001	E	023	A61K031/192
CN 1298700 A	June 13, 2001		000	A61K031/19
EP 1129710 A2	September 5, 2001	E	000	A61K031/192
JP 2001192332 A	July 17, 2001		006	A61K031/192

DESIGNATED-STATES: AL AT BE CH CY DE DK ES FI FR GB GR IE IT LI LT LU LV MC MK NL PT
RO SE SI TR

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DATE	APPL-NO	DESCRIPTOR
KR2001051939A	November 24, 2000	2000KR-0070461	
CA 2326549A1	November 23, 2000	2000CA-2326549	
CN 1298700A	November 23, 2000	2000CN-0128380	
EP 1129710A2	November 23, 2000	2000EP-0310391	
JP2001192332A	November 22, 2000	2000JP-0356516	

INT-CL (IPC): A61 K 31/19; A61 K 31/192; A61 P 25/06

RELATED-ACC-NO: 2001-457762

ABSTRACTED-PUB-NO: CA 2326549A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - A method for mitigation or treatment of photophobia and phonophobia associated with migraine comprises the use of ibuprofen (a), its salts (b) and/or its isomers (c).

DETAILED DESCRIPTION - INDEPENDENT CLAIMS are included for:

(i) a medicament for mitigating or treating photophobia and phonophobia associated with migraine comprising (a), (b) and/or (c);

(ii) a composition for mitigating or treating photophobia and phonophobia associated with migraine comprising (a), (b) and/or (c); and

(iii) a commercial package for mitigating or treating photophobia and phonophobia associated with migraine, which comprises (a), (b) and/or (c) together with instructions for use of the package.

ACTIVITY - Antimigraine; analgesic; antiinflammatory.

Of the 650 patients suffering from photophobia due to migraine some patients were given placebo, while others were given either 200 or 400 mg of ibuprofen. Periodic assessments of their photophobia were made by determining % of patients with severity reduced to zero. The results for ibuprofen (200 mg)/ibuprofen (400 mg)/placebo-treated patients showed that % of patients with photophobia severity reduced to zero at a time (hours) of 2, 3 and 5 was 22/19/15; 29/26/19 and 37/34/26 respectively.

MECHANISM OF ACTION - None given.

USE - For mitigating or treating photophobia and phonophobia associated with migraines (claimed).

ADVANTAGE - The method utilizes the action of a single active ingredient, which is commercially available and does not cause undesired side effects.

ABSTRACTED-PUB-NO: CA 2326549A

EQUIVALENT-ABSTRACTS:

CHOSEN-DRAWING: Dwg.0/2

DERWENT-CLASS: A96 B05

CPI-CODES: A12-V01; B10-C04C; B14-C01; B14-C03; B14-J01;

WEST Search History

DATE: Monday, February 18, 2002

<u>Set</u> <u>Name</u> side by side	<u>Query</u>	<u>Hit</u> <u>Count</u>	<u>Set</u> <u>Name</u> result set
<i>DB=USPT,PGPB,JPAB,EPAB,DWPI; PLUR=YES; OP=ADJ</i>			
L14	L13 and I12	2	L14
L13	ibuprofen.clm.	760	L13
L12	I11 and I10	17	L12
	pseudoephedrine or decongestant or caffeine or triethylamine or tripropylamine or		
L11	\$3dimethylaminoethanol or \$3diethylaminoethanol or lysine or arginine or histidine or procaine or theobromine or purine or piperazine or piperidine or polyamine resin	198696	L11
L10	I2 and I9	23	L10
L9	photophobia or phonophobia	287	L9
L8	I7 and I3	42	L8
L7	I4 or I5 or I6	15319	L7
L6	headache	8771	L6
L5	vascular headache	328	L5
L4	migraine	9487	L4
L3	ibuprofen.ti.	686	L3
L2	ibuprofen	6216	L2
L1	codispoti.in.	19	L1

END OF SEARCH HISTORY